

市民活動団体と鎌倉市による相互提案協働事業 評価シート (令和3年度)

事業名 : 梶原山大通り街路樹柵再生事業

市民活動団体名 : 梶原山町内会

担当課 : みどり公園課

(1) 事業着手前

| 評価項目                   | 団体  | 担当課                   | 理由(団体と担当課それぞれ記入してください)       |
|------------------------|---|-----------------------|------------------------------|
| 協定書作成に当たり十分な話し合いができたか  | <input type="radio"/>   | <input type="radio"/> | 【団体】<br>特段の問題はなかった。          |
| 協定書作成時に対等な立場で話し合いができたか | <input type="radio"/>   | <input type="radio"/> | 【担当課】                        |
| 協定書の内容は充分であったか         | <input type="radio"/>   | <input type="radio"/> | 団体はとても熱心に取り組んでおり、市の負担は少なかった。 |
| 総括(評価のまとめ)             | 協働事業の大部分を団体が実施する計画であったため、市の負担は少なかった。<br>団体が準備を丁寧に行い、無理のないスケジュール立案をしたため、問題ない協定書を締結できた。 |                       |                              |

(2) 事業実施過程

| 評価項目                   | 団体   | 担当課                   | 理由(団体と担当課それぞれ記入してください)  |
|------------------------|--|-----------------------|---|
| 当初の事業計画どおり行われたか        | <input type="radio"/>  | <input type="radio"/> | 【団体】<br>植え付け当初にツツジの枝が折られる事案が発生したが、関係団体と相談しながらその後の被害を防ぐことが出来た。 |
| 対等な対場で進められたか           | <input type="radio"/>  | <input type="radio"/> |   |
| 互いの特性や資源を活かしあって進められたか  | <input type="radio"/>  | <input type="radio"/> | 【担当課】   |
| 課題認識、目的、過程を共有して進められたか  | <input type="radio"/>  | <input type="radio"/> | ツツジの枝に被害があったときも、団体は見守り活動を行い、再発防止に努めていた。                       |
| 課題が出た時、話し合いの場を持ち解決できたか | <input type="radio"/>  | <input type="radio"/> |   |
| 総括(評価のまとめ)             | コロナ禍であっても団体は熱心に作業参加者を集め、段取り良く補植作業を実施した。<br>ツツジの枝が折られた時も、団体は再発防止に努めていた。 |                       |   |

(3) 事業実施結果

| 評価項目                 | 団体   | 担当課 | 理由 (団体と担当課それぞれ記入してください)  |
|----------------------|--|-----|--|
| 設定された目標(評価項目)は達成されたか | ○  | ○   | <b>【団体】</b><br>設定した目標は十分達成され、ツツジのある街並みを再生できた。<br>次年度以降の展望について、市から有益な情報を得られた。<br><br><b>【担当課】</b><br>梶原大通りの再生を町内会が主体的に行うことで、町内の方の街路樹に対する愛着を高められた。 |
| 予算の執行は予定通りであったか      | ○  | ○   |  |
| 定められた役割分担は妥当であったか    | ○  | ○   |  |
| 定められた役割分担は守れたか       | ○  | ○   |  |
| 市民サービスは向上したか         | ○  | ○   |  |
| 市民と行政の協働事業は効果があったか   | ○  | ○   |  |
| 総括 (評価のまとめ)          | 団体は予算を効果的に活用し、効率良く事務作業を進めたため、市としても最大限の成果が得られた。 |     |  |

(4) 今後の事業展望

|  |  |
|--|--|
| 事業を実施した結果を踏まえ、将来的な視点を含めた総括<br>(評価全体のまとめ) | <p>通常の街路樹愛護会の活動よりも、一歩進んだ活動を行うことができた。他の愛護会にとっても、今回の事業は良いモデルケースになった。</p> <p>活動資金を捻出してくれる基金等について、市から町内会に情報提供することができたため、梶原大通りの残り2/3についても同様の活動が期待できる。</p> |
|--|--|

※理由及び総括欄は、別紙で提出しても結構です。

※総括は、市民活動団体と担当課で協議した上で記入してください。

★評価の基準

- ：十分に達成
- △：一部課題があるが概ね達成
- ×：不達成